会　議　録

名　称		松山市子ども・子育て会議　地域子育て部会
事 務 局		保健福祉部子育て支援課 TEL　089－948－6418 FAX　089－934－1814
開催日時		平成30年1月23日（火）　10:00～10:20
開催場所		松山市青少年センター　3階　大ホール
出席者	委　員	太田佳光、金谷めぐみ、加納飛鳥、恒吉和徳、堀田真奈、安田智美、安永耕造、山本良子（五十音順、敬称略）　合計8名
	事務局	子育て支援課長等担当者　合計9名
議　　題		「松山市子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しについて ～地域子ども・子育て支援事業（病児・病後児保育事業）部分～
議事内容		1．開　会 2．議事 「松山市子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しについて ～地域子ども・子育て支援事業（病児・病後児保育事業）部分～ 3．閉　会 【委員からの意見等】 ・病児・病後児保育事業の配置基準はどうなっているのか。また、面積基準は無いのか。 →（事務局）配置基準については、子ども 10 人につき看護師 1 人、子ども 3 人につき保育士 1 人。また、面積基準は特に無いが、通常の保育に準じた面積を遵守していることを確認している。 ・病児・病後児保育事業の周知や実施施設の拡大に関して、具体的な計画や目標などあるか。 →（事務局）ニーズが高い事業で昨年度から医師会主催の小児科医が集まっている会合で事業の説明をしたり、個別に病院を訪問しているが、看護師や保育士の確保など医師の負担が大きく事業の実施には至っていない。北部方面に事業所が無いため、優先的に丁寧で粘り強く説明を続けていく。 　また、周知に関しては、4 月の入れ替わりの時期に各保育所や各小学校で、ポスターの掲示などを依頼していきたい。 ・子どもが 3 歳までは母親が子どもを育てるという意識の強い方が多いのかなと思う。共働きも増えているので、主語は母親だけでなく父親も使いやすいという説明の仕方も大事。事業を使うことに批判的な方もいるので、困った時には使えるという丁寧で地域性に配慮した情報の発信をしていただきたい。 ・保育所と違って小学校は保護者の方が学校に来る機会は少ないので、ポスターを見る機会も少ないと思う。困った時には役に立つ事業だと思うので、どういう手順で使えるかという紙の資料を各家庭に配布していただきたい。 →（事務局）考えを整理して、それぞれの実情に合った周知に努めたい。 ・情報の周知については、大体みんな知っているだろうということでも、一般的にみるとなかなか伝わっていないことがある。できるだけ多様で柔軟に、保護者の方が集まるような場所で周知に努めていただきたい。 ・この事業について、量の見込みが多ければ良いのか少ないほうが良いのか難しいところがある。大事なことは、必要な時に利用ができる受け入れ体制が整っていることなので、受け皿の拡大に向けて検討をしていただきたい。

備　考(資　料)	（配布資料） ・平成29年度　第3回　松山市子ども・子育て会議　地域子育て部会　次第 ・平成29年度　第3回　松山市子ども・子育て会議　地域子育て部会　配席図 ・「松山市子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しについて ～地域子ども・子育て支援事業（病児・病後児保育事業）部分～【資料1】 ・病児・病後児保育事業の見直し（案）に関する各委員からの意見について【資料2】
公開・非公開	全部公開　　部分公開　　非公開
傍聴者数	０ 人 （ ５ 席）